部局名	農学部	担当：（ MaMeCon Project ）

テーマ	農学MaMeCon Projectによる微生物叢制御技術を基盤とした持続的農業生産と健康福祉の向上

Microbiome and Metabolome Control Project
（MaMeCon Project）

～ダイズをモデルに微生物叢と代謝物を制御する技術開発～

このプロジェクトでは、微生物の集合（まとまり）である微生物叢をコントロールする技術を開発し、ダイズを発酵させた機能性食品や微生物によって合成される機能性物質を中心とするダイズ生産やエネルギー生産に関する研究を行うことで、持続的農業生産と健康福祉の向上を目的とし、健康長寿社会の実現に向けた新たな食スタイルの提案、災害復興時の食糧およびエネルギー供給の実現、SDGsの達成、CO2排出削減と温暖化対策への貢献などを通じて、世界を視野に地域から貢献していきます。

■機関組織的な体制

農学部を中心としたオール宮崎大学
農学部、工学部、医学部、地域資源創成学部、
フロンティア科学総合研究センター

連携と融合

地域の産業界と
官公庁・宮崎県
JA宮崎経済連・
県内企業など

■3つのテーマとプロジェクトリーダー

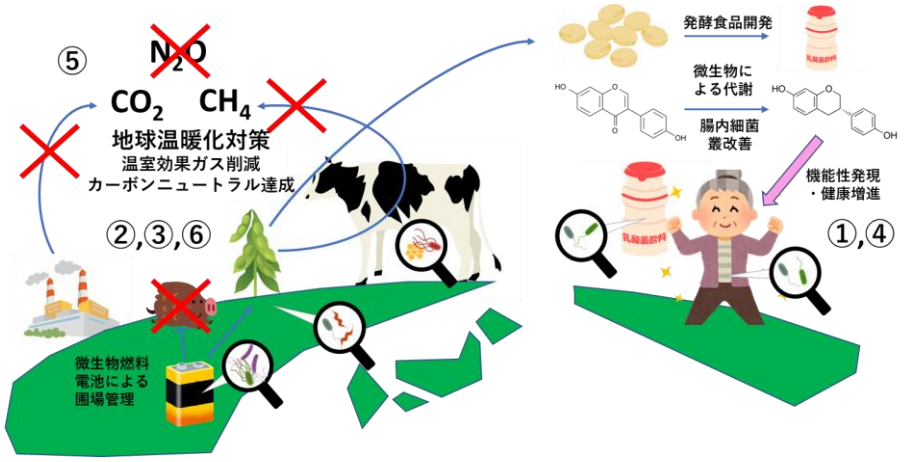
- ダイズ成分の効率的活用と機能性食品開発　テーマリーダー：榊原陽一教授
- ダイズ遺伝資源の活用、大豆栽培技術　テーマリーダー：佐伯雄一教授
- ダイズ発酵食品、未利用残渣からの発電　テーマリーダー：井上謙吾准教授

プロジェクトが目指す成果

ダイズをモデルとした持続可能な
エネルギー循環型農業と食料安全保障への貢献

具体的には、次の6つの成果を目指しています。

①宮崎県産農産物を活用した機能性発酵食品
②宮崎に適した優良ダイズ品種と栽培技術
③地球温暖化を見込んだ品種選抜と計画的な栽培
④災害復興時の食糧としてのダイズ活用
⑤二酸化炭素排出量の削減による地球温暖化対策
⑥東南アジアにおける農業生産と食糧自給率の向上



世界を視野に地域から貢献することで、SDGsの達成にも貢献します